

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年9月25日(木) 5校時

児 童 男10名 女10名 計20名

指導者 笹川修一

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
教材名 平和のとりでを築く(説明的文章)
自分の考えを発信しよう/インターネットと学習

2 単元について

第5学年および第6学年の「読むこと」領域の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通じて考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。本単元では、「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」(エ)を主たる目標としている。

本教材は、原子爆弾によって「傷だらけ」となった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。全体で13の段落から成り、「筆者の思い—原爆ドームがたどった歴史—世界遺産への道のり—まとめ」という文章構成になっている。原爆ドームについての史実と世界の遺産となった意味について、筆者の考えをていねいに読み取ることにより、いかに多くの人々が「平和」を希求しているかが分かり、続く活動への動機を与えることにもつながる。「平和」について考えるという点では、3年下巻「ちいちゃんのかげおくり」、4年下巻「一つの花」などと関連する。また生命尊重という点では、6年上巻「生き物はつながりの中に」「森へ」「みんなで生きる町」、同下巻「やまなし」「海の命」などとも関連する。児童が、これまでの説明文学習で身につけた力を定着させつつ、「平和」について自分の考えをもち、さらに外部に発信していくという学習につなげるのに適した教材であると考えている。

児童はこれまで、5年上巻「サクラソウとトラマルハナバチ」、同「千年の釘にいどむ」で、感想をまとめながら、説明文についての自分の意見をもつことを学習してきた。また、6年上巻「生き物はつながりの中に」の学習を通して、筆者の主張に対する自分の考えをまとめ、発表する活動を行っている。

説明的文章を読むにあたり、児童は文末表現を手掛かりに事実と考えを区別することや、接続語をもとに段落相互のつながりをとらえること、指示語が示す言葉を押さえることなどにより、筆者が伝えたいことを読み取ることについてはある程度の理解ができている。しかし、筆者の表現の意図をとらえたり、根拠を明らかにして自分の考えを述べたり書いたりすることはまだ十分とはいえない。また、他の児童の意見を受けて自分の考えを膨らませていこうとする意欲についても、不十分である。

児童の国語科に対する意識をみると、読書が好きだと回答する児童が多い反面、自分の考えと筆者の考えを比較しながら読んだり、他と自分の考えを比較してより深めたりしようとする意識については、まだ高いとはいえない。また、ペアやグループでの学習で自分の意見を述べることへの意欲が高まってきているが、学級全体の場で自分の考えを積極的に述べたり、様々な表現活動に表現に取り組んだりしていこうとする意欲も高いとはいえない。

指導にあたっては、まず、自分の考えを発信する情報活用につなげることを前提に、単元全体の見通しをもたせ、児童の学習に対する意欲につなげたい。そして、本教材では話題提示に述べられた筆者の思いをもとに、具体的事例について事実や時間の流れをおさえながら正確に読み取り、筆者が伝えなかったことにつなげたい。さらに、「まとめ」ではキーワードや叙述に着目し、読み確かめるための視点をもたせうえで書き込みを行うことにより、それらの意味することや筆者の伝えたいことについての根拠を明らかにしたい。そのうえで、他者の考えをもとに自分の読み取りを振り返ることによって、さらに自分の考えを深め、筆者の思いや願いをより確かに受け止められるようにしたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・ 筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとする。

(2) 読むこと

- ・ 筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にして読むことができる。 (読 エ)
- ・ 題名が意味することや筆者の思いに注意して読むことができる。 (読 イ)

(3) 書くこと

- ・ 自分の考えを明確に表現するために、材料を選び直したり、効果的な文章の組み立てを考えて書いたりすることができる。 (書 イウ)
- ・ 事実と意見を区別して書いたり、対立する意見に反論を述べたりすることができる。 (書 エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・ 文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを考えることができる。 (言オ (ア))

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・ 筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。	・ 叙述に即して文章を読み取りながら筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読んでいる。 ・ 題名が意味することや筆者の思いに注意して読んでいる。	・ 自分の考えを明確に表現するために、必要な材料を選び、効果的な文章の組み立てを考えて書いている。 ・ 事実と意見を区別して書いたり、対立する意見に反論を述べたりしている。	・ 文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを考えている。

5 単元の指導計画 (16時間 読8時間 書8時間)

段落	時数	主な学習内容	評価規準と評価方法
第一次見通す	1	・ 単元名、題名から学習の見通しをもつ。 ・ 戦争や平和について知っていることや考えを出し合う。	関 事前に戦争や平和に関するニュースや新聞を調べ、進んで読もうとしている。(発言・観察) 読 全文を読んで、おおまかな文章構成や筆者の考えを読み取っている。(発言・ノート)
	2	・ 題名と第1段落から読み取りの課題を確認する。(2つ) ・ おおまかな文章構成をつかむ。	関 原爆ドームに対する筆者の訴えについて自分なりの考えをもとうとしている。(観察・発言) 読 題名に着目し、第1段落をもとに読みの課題をもっている。(発言・ノート) 言 文章にはいろいろな構成があることを知り、適切な物を考えることができる。(発言・ノート)

第二次 深める	3 ・4	・原爆ドームのたどった歴史に対する筆者の思いを読み取り、自分の考えをもつ。 (第2～8段落)	関 原爆ドームのたどった歴史に対する筆者の思いについて、自分の考えをもとうとしている。(観察・発言) 読 史実を正しく読み取り、原爆ドームがたどった歴史を表に整理してまとめている。(発言・ワークシート)
	5	・原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの経緯に対する筆者の思いを読み取り、自分の考えをもつ。 (第9～11段落)	関 原爆ドームの世界遺産指定に対する筆者の思いについて、自分の考えをもとうとしている。(観察・発言) 読 原爆ドームが世界遺産になるまでの道のりを正しく読み取っている。(発言・ワークシート)
	6	・筆者が一番伝えたいことを読み取り、要旨をまとめる。 (第12～13段落)	関 筆者の伝えたいことを受け止めようとしている。(観察・発言) 読 筆者の伝えたいことを受け止め、要旨をまとめている。(発言・ワークシート)
	7 本時	・要旨をもとに、根拠を明らかにして筆者の伝えたいことを読み確かめる。	関 筆者の言葉に込められた思いについて、考えを深めようとしている。(発言・観察) 読 読み確かめる視点に沿って叙述の意味を考え、筆者の伝えたいことをまとめている。(発言・ワークシート)
	8	・筆者の思いに対する、自分の考えをまとめ、発表しあう。	関 友達の考えを聞き、筆者の伝えたいことに対する自分の考えを深めようとしている。(発言・観察) 読 自分の感じ方・考え方を明確にして自分の考えをまとめている。(ワークシート)
第三次 まとめる	9	・考えを発信するために計画を立て、見通しをもつ。	関 今後の学習の見通しをもとうとしている。(観察・発言) 書 教材文を読み、自分の伝えたいテーマを考えている。(発言・ノート)
	10	・平和を巡る問題について考え、話し合う。	関 平和についての話し合いに積極的に参加している。(発言・観察) 書 話し合いをもとに、平和についての自分の伝えたいテーマを決めている。(発言・ノート)

第三次 まとめる	11 ・ 12	<ul style="list-style-type: none"> 現在の時点で考えていることを「仮の要旨」としてまとめ、それに説得力をもたせるための材料を集める。 	<p>関 自分のテーマについて、進んで資料収集している。 (取材・観察・ノート)</p> <p>書 自分の考えを「仮の要旨」としてまとめている。 (ノート)</p> <p>言 分からない言葉について辞書を使って調べている。 (観察)</p>
	13	<ul style="list-style-type: none"> 集めた材料をもとに、「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ直す。 	<p>関 集めた情報をもとに、自分のテーマについての要旨を確定しようとしている。 (観察・発言)</p> <p>書 自分のテーマに沿って集めた情報を整理し、要旨を確定している。 (資料・要旨)</p>
	14	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書き、推敲して清書する。 	<p>関 自分の考えが明確に伝わるように文章を書こうとしている。 (観察)</p> <p>書 自分の考えを明確に伝えるために効果的な組み立てを考え、事実と意見を区別して文章を書いている。(意見文)</p> <p>言 文章にはいろいろな構成があることを理解している。 (ノート)</p>
第四次 ひろげる	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見文を交流し合う。 ・ 推敲したものを発表し合う。 	<p>関 進んで自分の考えを述べたり、友達の意見文への感想を発表したりすることで、平和についての考えを深めようとしている。 (発言・観察)</p> <p>書 友達の意見文を聞き、観点に沿って感想やアドバイスを述べ、平和についての考えを深めている。 (自己評価・ノート)</p>
	16	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の学習を振り返り、学習の意味を見出す。 ・ 単元の学習を振り返り、まとめる。 	<p>関 単元全体を振り返り、学習したことの意味を考えようとしている。 (発言・観察)</p> <p>書 情報の集め方や考えの発信のしかたなど、学習を通して学んだことや感じたことをまとめている。 (ノート)</p>

6 本時の指導

(1) 目標

要旨をもとに叙述の意味を考え、筆者の伝えたいことをまとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	教師の働きかけと予想される反応	個への支援と評価の観点（方法） ・留意点
つかむ 4分	1 前時を想起する。 ○要旨は何でしたか。 2 本時の学習課題を把握する。 言葉を手がかりに、筆者が一番伝えたいことを読み取ろう。	1 前時までの学習を振り返り、本時は要旨をもとに筆者が伝えたいことを読み確かめることを確認する。 2 学習課題を提示する。	・文章構成図やノート、前時までの紙版書をもとに想起させる。 ・要旨の中の叙述から、筆者は何を伝えようとしているのかを考えていくことを確認する。
考える 16分	3 読み確かめるための視点を考える。 ○筆者の思いを強く感じる言葉はどれですか。 4 視点に沿って、自分の考えを書き込む。 ○戦争はどんな心から生まれるのでしょうか。 ○平和のとりでを築くとはどういうことでしょうか。	3 叙述に着目し、読み確かめるための視点について話し合う。 ・戦争は人の心の中で生まれる ・平和のとりでを築く 4 要旨の文に書き込みながら筆者の伝えたいことを考える。 ・憎しみ、ねたみ ・自分勝手、わがまま ・平和を守ろうとすること ・戦争を起こさないこと ・強い意志	・題名とかかわる言葉、筆者の思いが強く述べられている大切な言葉に着目させる。 ・題名につながる「平和のとりでを築かせる」については必ず書きこむこととする。 支「とりで」の意味を確認し、築く目的をとらえさせる。
深める 20分	5 考えたことを交流する。（学び合い） (1) グループ (2) 全体 6、筆者の伝えたいことをまとめよう。 ○この文で筆者が伝えなかったことはどんなことだろう。	5 段階的に話し合い、その内容をもとに筆者の考えを深める。 ・「人の心から生まれる」について○ ○だと考えました。 ・「平和のとりで」について○○だと考えました。 6 学び合いをもとに、筆者の伝えたいことを条件に沿ってまとめる。 ・筆者の思いは ・その根拠は（言葉の意味）	・友達のことを聞いて付け足すだけでなく、さらに考えられることはないか話し合わせる。 支 類似点、相違点に着目させ、自分の考えと比較させる。 ・条件を提示することにより、根拠を明らかにしてまとめを書かせるようにする。 評 条件に沿って筆者が伝えたいことを書くことができたか。
	具体的評価規準 A：他の段落の表現にも触れながら筆者が一番伝えたいことを読み取り、示された条件に沿ってまとめている。 B：筆者が一番伝えたいことを読み取り、示された条件に沿ってまとめている。 Cへの支援：板書をもとに話し合いの視点を振り返り、筆者の伝えたいことを確かめる。		

ま と め る 5 分	7 学習のまとめをする。	7 自分のまとめを発表し合い、要旨を音読する。	・ 叙述に込められた筆者の思いを確かめながら読ませる。
	8 次時の学習について確認する。	8 学習計画をもとに、次時の学習内容を確認する。	・ 学習の評価と同時に、本時までの学習を生かして次時の学習に取り組むことを意識させる。


7 板書計画

筆者は、
このことから、

痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾がもたらす惨害をわたしたちに無言で告げており、未来の世界で核兵器は不必要だと、世界の人々に警告する記念碑である。国連のユネスコ憲章に記されているように原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

「戦争は人の心の中でまれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」

平和のとりでを築く
大牟田 稔



ノーモアヒロシマ

IV 筆者が伝えたいこと		III 世界遺産への道のり			II 原爆ドームがたどった歴史							I 原爆ドームに対する筆者の思い	構成		
13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
<p>戦争を許さず、平和を守っていく強い意志</p>	<p>原爆ドームは、核兵器が不必要だと世界に警告する記念碑なのである。</p> <p>原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。</p>	<p>わたしは、世界の人々の平和を求める気持ちの強さを感じた。</p>	<p>世界遺産とは、文化遺産と自然遺産を未来に向けて大切に守っていく制度である。</p>	<p>一九九二年、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。↓市民が中心</p> <p>一九九六年、世界遺産に指定。</p>	<p>全国から届いた保存を願う手紙や寄付により、補強工事がくり返された。</p>	<p>一九六〇年、一少女の日記をきっかけに市民も役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がった。</p>	<p>戦後間もないころ、原爆ドームの保存と取りこわしの議論が続いた。</p> <p>原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出す</p>	<p>「原爆ドーム」は全焼したが、れんがと鉄骨の一部（ドーム）が残った。</p>	<p>一九四五年、広島市に原子爆弾が投下され、「原爆ドーム」の近くで爆発した。</p>	<p>「原爆ドーム」は、広島を取り巻く時代の流れを見守ってきた。</p>	<p>一九一五年、「原爆ドーム」は物産陳列館として完成した。</p>	<p>「原爆ドーム」→平和を築き、戦争をいましめるための建造物</p> <p>わたしは、建築されてからこの日まで、この傷だらけの建物がたどってきた年月を思わずにはいられなかった。</p> <p>○原爆ドームは世界遺産への仲間入りを果たすまでにどのような年月をたどってきたのだろう。</p> <p>○「平和のとりでを築く」で筆者は何を伝えたいのだろう。</p>	<p>そのままだ 「原爆ドーム」 建造物 わたし 年月</p>	<p>構成の要素</p>	<p>中心語句・重要語句</p>
	<p>見る人の心</p> <p>世界の遺産</p>	<p>世界の人の心</p> <p>記念碑</p>	<p>世界遺産</p>	<p>世界遺産</p>	<p>全国</p> <p>補強工事</p>	<p>市民</p> <p>一少女</p> <p>原爆ドーム永久保存</p>	<p>(原爆ドーム)</p> <p>原爆ドーム議論</p>	<p>この建物最大の特徴とどめる</p>	<p>一九四五年原子爆弾この建物</p>	<p>この建物時代の流れ</p>	<p>一九一五年物産陳列館</p>	<p>建物建造物</p>			
<p>平和のとりで世界の遺産なのだ</p>	<p>ユネスコ憲章人の心</p> <p>核兵器不必要警告記念碑なのである</p>	<p>わたし不安遺跡世界の人々平和</p>	<p>文化遺産自然遺産大切制度</p>	<p>一九九二年世界遺産 全国一九九六年</p>	<p>全国</p>	<p>市民一少女</p>	<p>原爆ドーム議論</p>	<p>この建物最大の特徴とどめる</p>	<p>一九四五年原子爆弾この建物</p>	<p>この建物時代の流れ</p>	<p>一九一五年物産陳列館</p>	<p>建物建造物</p>			

要旨
原爆ドームは、後世まで、それを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界の遺産なのだ。